

7 日本人の家を訪問する



7課では、日本人の家を訪問するときのマナーや、楽しく自分らしく話す方法について学びます。

例1 友達の家に立ち寄ったとき

1. 各コマについて

1コマ目	スヨンは別の用事があり、偶然、日本人の友達のカナの家の近くまで来た。会う約束をしていないが、カナの家を訪問してみようと思いつく。
2コマ目	突然、スヨンが訪問してきて、インターホン越しにカナは驚く。
3コマ目	インターホン越しに話すスヨンとカナ。カナは狼狽し、「でも、今はちょっと」とスヨンが自宅に上がることを拒む。
4コマ目	カナはスヨンが自宅に上がることを頑なに拒む。スヨンは、その理由がわからず戸惑う。

2. 話し合いのポイント

- ここでは、なぜカナがスヨンの突然の訪問を歓迎しないのか、そして、スヨンが突然の訪問を断られて当惑している理由を学習者に考えてもらうことがポイントです。
- ここで2人が感じている違和感には、例えば、以下のような要因が関わっていると思われます。ただし、これらを正解として提示したり、「日本人はこうだ」と言い切ってしまうことは避けましょう。

＜スヨンの背景＞

- ・ 社交辞令としてカナが言った「今度うちに来てよ」というような言葉をスヨンが字義通りの意味で受け取ってしまった。

＜カナの背景＞

- ・ 掃除していない部屋を他人に見られたくない。
- ・ 家族と同居しているので、友人の突然の訪問で家族に迷惑がかかることを気にしている。
- ・ 友達同士でも、遊ぶのにアポが前提と考えている。

3. 話し合いを進めるときのコツ&発展させるなら……

- 学習者からあまり意見が出されない場合、まず、学習者の出身国、地域では訪問時に事前の約束が要るかどうか、どのくらい前から約束が必要か、それはどんな要因（例：親疎など相手との関係性、訪問の目的など）によって決まるかについて話してみるといいでしょう。
- 知り合いの日本人から「お近くにお越しの際はお立ち寄りください」と言われ、真に受けて実際に訪問したら迷惑がられたという外国人の失敗談は昔からよく聞きます。ここでは、単に失敗の紹介にとどまらず、自分だったらどうするか、どうするといいか考えるところまで持っていけるといいでしょう。
- 突然の訪問を迷惑だと感じるかどうかは、日本国内でも地域差や個人差があると思われます。話し合いの最後には、その点に言及しておくといいと思います。

例2 大家さんの家に立ち寄ったとき

1. 各コマについて

1コマ目	留学生（女性）が帰宅時、アパートの前で掃除をする大家さんに会い、大家さん宅に招かれる。
2コマ目	大家さん宅で、留学生と大家さん夫妻の雑談が始まる。
3コマ目	大家さん夫妻に個人的なことを聞かれ、当惑し始める留学生。
4コマ目	さらに次々と個人的なことを聞かれて、閉口する留学生。

2. 話し合いのポイント

- マンガの留学生にとって、家族の年齢や職業などは個人的なことであり、通常、アパートの大家さんのような、あまり親しくない間柄の他人に根掘り葉掘り聞かれることではないため当惑しています。
- ここでは何が個人的なことかという部分については文化差、個人差があるという点への学習者の気づきを促すことがポイントとなります。自分があまり答えたくないことを日本語で聞かれたときに、どう対処するといいか、考えてもらうことを目指します。

3. 話し合いを進めるときのコツ&発展させるなら……

- 本冊 p.9 の話題リストなどを使いながら、学習者の文化で家族以外の他人と話すときにタブーのトピックを挙げてもらうのもいいでしょう。
- その後、日本人にかぎらず、質問されて答えに窮した経験やその質問の内容をクラスで共有してもいいと思います。
- 日本人が個人的なことを質問するのは相手に対する好奇心の表れで、デリカシーがないわけではないことをフォローしておくといいと思います。

例3 友達の実家に遊びに行ったとき**1. 各コマについて**

1コマ目	留学生（男性）が日本人の友人宅を訪問する。友人の母が食後にお茶を出してくれる。
2コマ目	友人の母が時計を見て時間を気にし始める。
3コマ目	友人の母が留学生の家が遠いということに触れ、遠回しに帰宅を促す。
4コマ目	友人の母は電車があるかと言って遠回しに帰宅を促すが、留学生はそれに気づかない。

2. 話し合いのポイント

- ここでは個人宅に訪問するとき、どのぐらい、また、特に夜、何時まで滞在していいのかというマナーについて考えることがポイントです。日本人同士であれば、知人宅を訪問したときは、ある程度の時間になったら、訪問相手（とその家族）を気遣い、いとまごいをして帰ることが一般的だと思われます。また、食事に招かれている場合を除き、訪問する場合は食事時を避けるかと思われます。しかし、訪問宅の家族構成（一人暮らしか家族と同居か、小さい子どもがいるかなど）、訪問先の人との関係、訪問の目的などにより、訪問先にどのぐらい、何時ぐらいまで滞在できるかが変わると思います。また、個人差や地域差もあると思います。
- このマンガで友人の母親が留学生に帰ってほしいとはっきり言わない理由について考えることもポイントです。

3. 話し合いを進めるときのコツ&発展させるなら……

- まずは、学習者の出身文化でのマナーや学習者個人が心がけている基準をクラスで共有し、訪問先での滞在時間や何時まで居られるかに影響を与える、上記のような要因について意識化できるといいでしょう。その上で、自分が日本人宅を訪問することになったとき、どうするといいと思うかについて学習者に考えてもらえるといいと思います。
- このマンガで友達の母親が留学生に帰ってほしいとはっきり言わないことを学習者が理解できなかったり、問題になったりするかもしれません。日本人がはっきり言わないことや、遠回しな言い方は外国人にとってわかりにくいものです。しかし、相手が外国人とはいえ、日本人もあからさまに帰宅を促したり、帰ってほしいとは言にくい気持ちがあることに触れるといいでしょう。
- 訪問時に何時までなら滞在していいか、訪問相手に尋ねることも一つの方法であると紹介してもいいかもしれません。
- 訪問者に帰宅を促すときにどうするかをクラスで共有したりするといいと思います。